
DM-3200 DAW Control

Mackie Control emulation for SONAR 4.x

日本語版

Version 1.11

1. 概要	3
2. DM-3200 及び SONAR の設定	3
2.1 DM-3200 の設定	3
2.2 MIDI デバイスの設定	3
2.3 コントロールサーフェスの追加	3
2.4 コンフィギュレーションレイアウト	4
3. LCD 画面	6
4. チャンネル機能	6
4.1 SEL key の制限	7
5. トップパネルキー	7
5.1 PAN	8
5.2 FLIP	8
5.3 AUX	8
6. トランスポート	8
6.1 F1-8	9

1. 概要

本マニュアルは DM-3200 コントロール・サーフェスを使用した SONAR 4.x のコントロールについて述べられています。

2. DM-3200 及び SONAR の設定

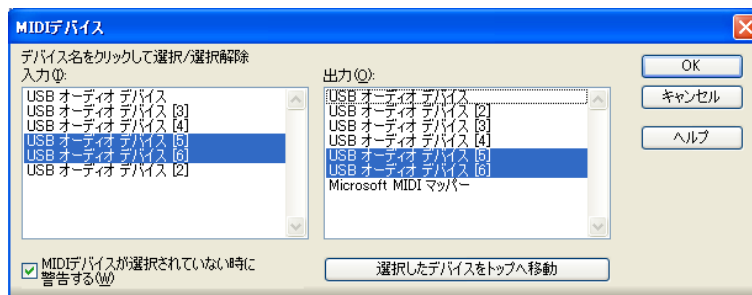
2.1 DM-3200 の設定

DM-3200 の REMOTE > EXT.CTRL 画面にて、サポート・デバイスの中から MC for SONAR を 2 つ追加します。

同様に REMOTE > MACHINE CTRL 画面にて、サポート・デバイスの中から MC for SONAR を 1 つ追加します。デバイス登録後、トランスポート機能を有効にする為に TRA 部分のラジオボタンをチェックする必要があります。

2.2 MIDI デバイスの設定

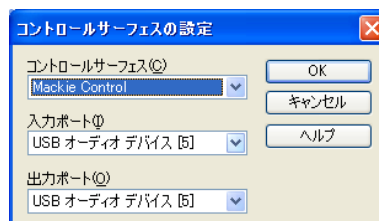
SONAR メニューバーのオプション > MIDI デバイスをクリックして MIDI デバイスウィンドウを開きます。入力及び出力に表示される USB オーディオデバイス[5],と[6]を選択します。



OK をクリックしてウィンドウを閉じます。

2.3 コントロールサーフェスの追加

SONAR メニューバーのオプション > コントロールサーフェスをクリックしてコントロールサーフェスウィンドウを開きます。



追加ボタンアイコンをクリックするとコントロールサーフェスの設定ウィンドウが開きます。

コントロールサーフェスに Mackie Control を選択し、入力ポート、出力ポートそれぞれに USB オーディオデバイス[5]を選択して OK をクリックします。

同様に追加ボタンアイコンをクリックしてコントロールサーフェスに Mackie Control XT を選択し、入力ポート、出力ポートそれぞれに USB オーディオデバイス[6]を選択して OK をクリックします。

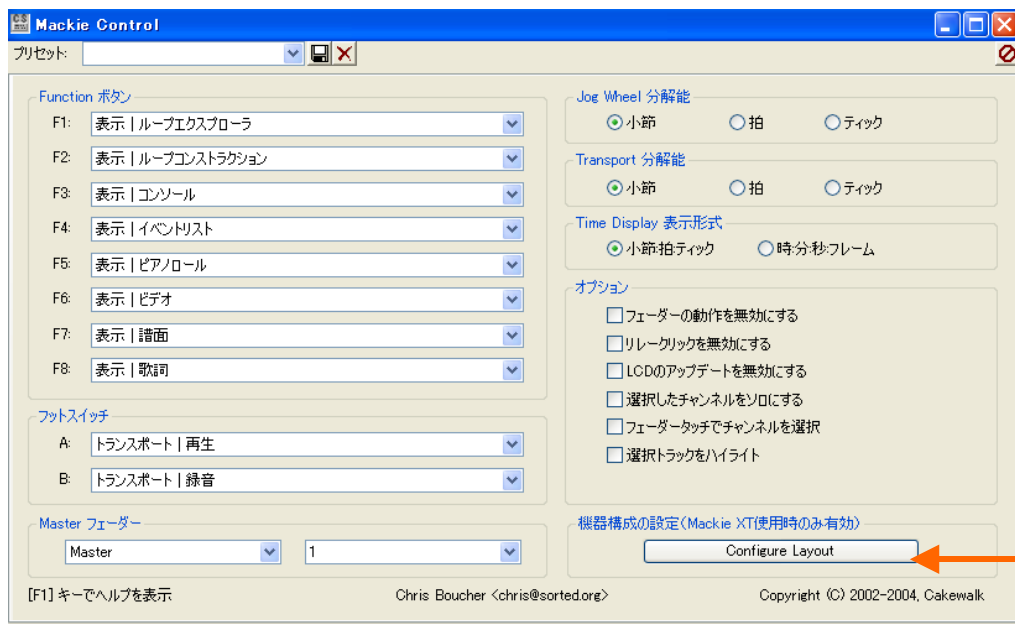
閉じるアイコンをクリックしてコントロールサーフェスウィンドウを閉じます。

2.4 コンフィギュレーションレイアウト

SONAR は DM-3200 のチャンネルグループ 1-8 とチャンネルグループ 9-16 を認識させる為のコンフィギュレーションが必要です。

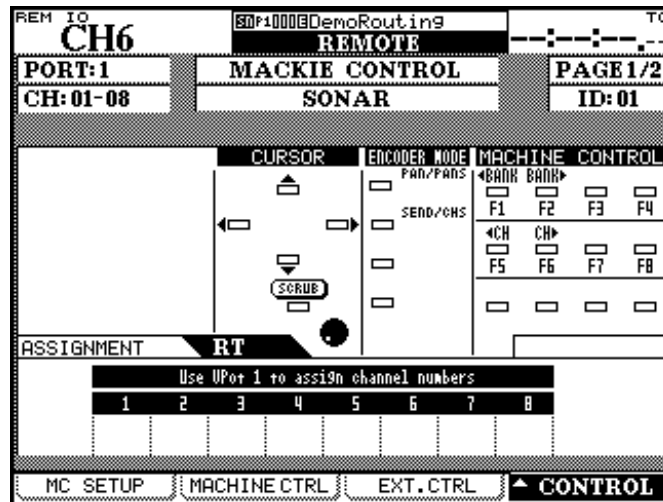
SONAR メニューバーのツール > Mackie Control をクリックして Mackie Control 画面を開きます。

Configure Layout ボタンをクリックします。



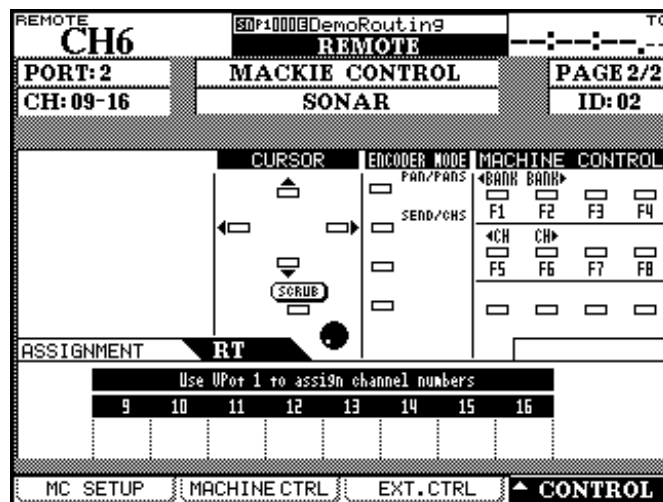
Configure Layout ボタンはクリックされると Press Again When Done という表示に変わります。

DM-3200 の EXT.CTRL 画面の POD キー 4 で CONTROL プルアップメニューをプルアップして 1 番目の 08 MC for Sonar 01 を選択して、チャンネルグループ 1-8 画面を表示させると画面 1 行目に Use Vpot 1 to assign channel numbers 、2 行目にコントロールターゲットトラックとして 1-8 が表示されます。

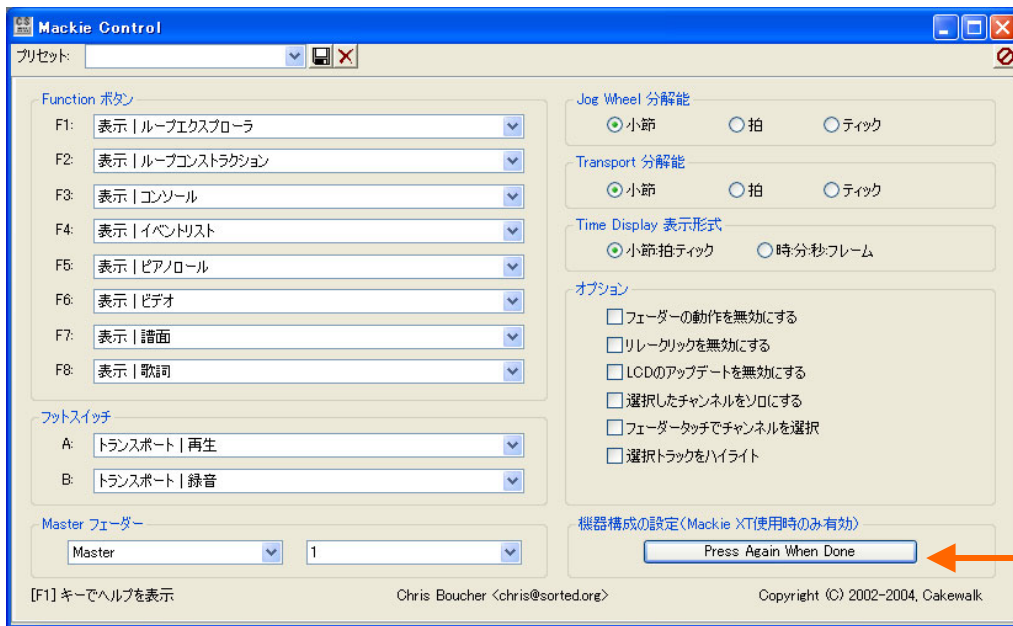


LCD 画面上部右側に CH01-08 と表示されているのを確認してチャンネル 1 リングエンコーダーでトラック 1-8 を選択します。

チャンネルグループ 9-16 のどれかフェーダーに触れ、LCD 画面上部右側の表示が CH09-16 に変わったのを確認してチャンネル 9 リングエンコーダーでトラック 9-16 を選択します。



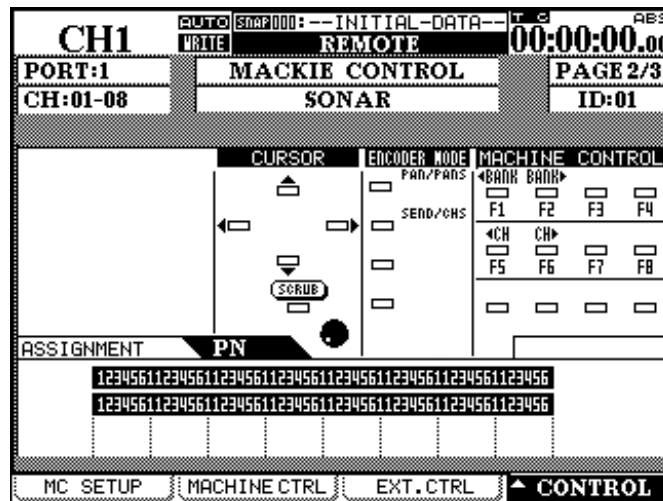
SONAR Mackie Control ウィンドウの Press Again When Done ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます。



以上で設定完了です。

3. LCD 画面

下の画面が SONAR コントロール用の画面です。



4. チャンネル機能

以下の表はチャンネル機能の概要です。

DM-3200	補助 キー	SONAR 機能	注記
リングエンコーダー		エンコーダー	パン・AUX センドなどをコントロールします

リング LED		リング LED	リングエンコーダーを操作する事によって変更されたパラメータ情報のレスポンスが SONAR から返ってくる事によってリング LED の点灯を行います
Select キー	Rec キー	Rec ready	トラックをレコードレディ設定をします アクティブ時、RED LED が点灯します
Solo キー		Solo	トラックのソロオン：オフ設定をします オン時、SOLO LED が点灯します
Mute キー		Mute	トラックのミュートオン・オフ設定をします オン時、MUTE LED が点灯します
トラックフェーダー タッチ		トラックフェーダー タッチ	トラックフェーダーのタッチセンスメッセージを送信します
トラックフェーダー		トラックフェーダー	トラックフェーダーをコントロールします
マスターフェーダー タッチ		マスターフェーダー タッチ	マスターフェーダーのタッチセンスメッセージを送信します
マスターフェーダー		マスターフェーダー	マスターフェーダーをコントロールします

4.1 SEL key の制限

SONAR では SEL キーはトラックのセレクトに使用する事はできません。DM-3200 の LCD 画面のチャンネルグループ 1-8 とチャンネルグループ 9-16 の切替は POD キー 4 で CONTROL プルアップニューを使用する事により切替ができます。

5. トップパネルキー

下記の表は DM-3200 トップパネルキーによるコントロールの概要です。

DM-3200	補助 キー	SONAR 機能	注記
Pan (ENCODER MODE セクション)		Pan	リングエンコーダーによってコントロールされる パラメータをパンに設定します 詳細は 5.1 を参照して下さい
Aux (ENCODER MODE セクション)		Sends	リングエンコーダーによってコントロールされる パラメータをセンドに設定します 詳細は 5.3 を参照して下さい
Flip		Flip	リングエンコーダー操作対象パラメータとフェー ダーレベルをフリップします 詳細は 5.2 を参照して下さい
上カーソル		上カーソル	
下カーソル		下カーソル	
左カーソル		左カーソル	
右カーソル		右カーソル	
データホイール			
	Scrub	Scrub	データホイールの動作モードをスクラブにします スクラブモード時に LCD 画面内の SCRUB スイ ッチは反転表示になります

LCD 文字表示		LCD display	SONAR から送られてくるメッセージを LCD 画面内の表示部に表示します
----------	--	-------------	--

5.1 PAN

エンコーダーモードの PAN キーを押すことにより SONAR の動作は以下の遷移します。

- 1 回目：LCD 画面 ASSIGNMENT 部分に NP と表示され、各エンコーダーは各トラックのパンコントロールを行います。
- 2 回目：LCD 画面 ASSIGNMENT 部分に N.P と表示され、リングエンコーダー 1 は SEL キーで選択されたトラックのパン、リングエンコーダー 2 はそのトラックに挿入されたセンド 1 のパンコントロールを行います。リングエンコーダー 3 以降はそのトラックに挿入されたセンド 2 以降のパンコントロールを行います。
- 3 回目：1 回押した場合と同様、各トラックのパンコントロールを行います。

5.2 FLIP

エンコーダーモードの FLIP キーを押すことにより SONAR の動作は以下の遷移します。

- 1 回目：フェーダーとリングエンコーダーともリングエンコーダーに割り当てられているパラメータのコントロールを行います。
- 2 回目：フェーダーはリングエンコーダーに割り当てられているパラメータのコントロールを行い、エンコーダーはフェーダーレベルコントロールを行います。
- 3 回目：通常操作に戻ります。

5.3 AUX

エンコーダーモードの AUX キーを押すことにより SONAR の動作は以下の遷移します。

- 1 回目：LCD 画面 ASSIGNMENT 部分に NP と表示され、リングエンコーダーはセンド 1 のレベルコントロールを行います。
- 2 回目：LCD 画面 ASSIGNMENT 部分に N.P と表示され、リングエンコーダーはトラックにインサートされているセンドオン・オフ、レベル、パン、プリ・ポストのコントロールを行います。

6. トランスポート

下記の表は DM-3200 トランスポート関連によるコントロールの概要です。

DM-3200	補助キー	SONAR 機能	注記
Rewind		Rewind	Rewind, Slow Rewind 操作を行います
Fast forward		Fast forward	Fast Forward, Slow Fast Forward 操作を行います
Stop		Stop	Sop 操作を行います

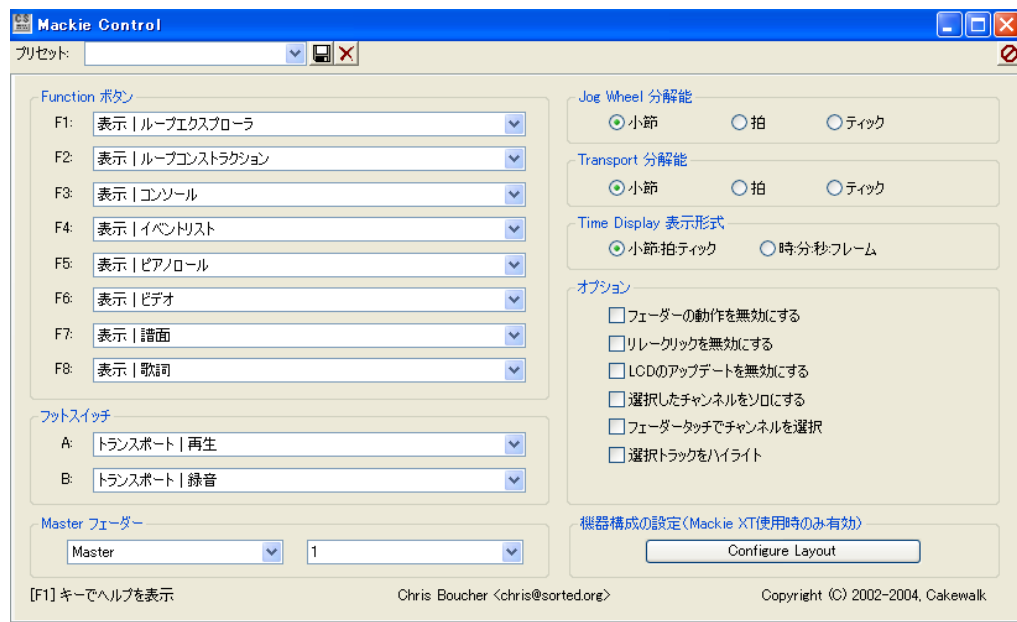
Play		Play	Play 操作を行います
Record		Record	Record 操作を行います
<BANK		< BANK	コントロール対象を 8トラック左へシフトします
BANK>		BANK>	コントロール対象を 8トラック右へシフトします
<LOCATE		<CHANNEL	コントロール対象を 1トラック左へシフトします
LOCATE>		CHANNEL>	コントロール対象を 1トラック右へシフトします
F1-8	CTRL	F1-8	F1-8 に割り当て割られた機能のコントロールを行います

6.1 F1-8

DM-3200 の CTRL キーを押しながら F1-8 キーを押すと、Sonar の F1-8 に割り当てられた機能をコントロールできます。

SONAR メニューバーのツール > Mackie Control をクリックして Mackie Control 画面を開きます。

この画面で Sonar の F1-8 に割り当てる機能の設定ができます。



SONAR セットアップ画面